

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	緊急時の体制として ・家族が避難誘導場所を知らない。 ・夜間停電時の明かりの備品が懐中電灯のため、他にもあったらいいのではないか。	緊急時、家族からの連絡がとれなくても避難場所を知っていることで安心できたり、来ることできる。 夜間の停電時に、光ることであかりを探すのではなく、見つけやすく、使用することができる。	・避難誘導場所をホーム内に掲示する。 ・家族に避難誘導場所を書面にて渡す。 ・停電センサーサーチライトを設置する。	1ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。